

脂肪肝診療における肝炎医療コーディネーターの役割

肝臓川柳

(受)検診療 みんなで啓蒙 して(い)こーね♪
((してこーね…コーネ…コーディネ…コーディネート))

多くの脂肪肝患者さんの中から非アルコール性の脂肪肝炎（NASH）になり、肝硬変、肝臓への進展、あるいは心血管イベントや他の癌の合併の割合が高くなるのが現在大きな問題になっており、脂肪肝外来を始めとした診療が重要ですが、脂肪肝診療の中での肝炎医療コーディネーターの関わりが注目されています。

脂肪肝に関する知識を勉強して是非コーディネーターからも啓蒙していただきたいですが、肥満や糖尿病などの方に画像診断検査の必要性を受検啓発、脂肪肝と言われた方に精密検査のための受診勧奨、確定診断のための入院や治療、予防を案内する受療支援など、ウイルス肝炎患者さんと同様な役割があると思います。

肝炎医療コーディネーターの役割は広がっています。



これだけ覚えておいて損はない！今回のポイント

脂肪肝診療の中でも、肝炎医療コーディネーターには受検啓発・受診勧奨・受療支援などウイルス肝炎患者さんと同様な役割があり、その幅は広がってきています。